

「たかが物置」・「されど物置」

仮設住宅の方々が大喜びの「鋼製物置」

日本中を震撼させた東日本大震災から2年余が経過したが、未だ応急仮設住宅に11万の方々が住まわれている。その仮設住宅に平成24年7～12月に4万2,000棟前後の「鋼製物置」が設置された。居住者の方々の強い要望に沿って厚生労働省・岩手・宮城・福島の国と3県が実施した措置だ。その物置が本当に活用されているのか、またその使い勝手はどうか、仙台市周辺の仮設住宅を回って現地を取材、レポートする。なおこの調査には業界団体の日本屋外収納ユニット工業会の武藤日出夫事務局長と、㈱稻葉製作所の堀川朋樹執行役員営業部長が同行した。

(本誌編集次長、益満健之)

◎「物置」と「風呂の追い炊き機能」

仮設住宅に物置を設置することになった直接のきっかけは、被災者向けの復興住宅の建設が、高台移転や用地選定の問題から大幅に遅れているためだ。このため仮設住宅への入居期間が従来の2年間から、3年間に延長され、さらに延長する場合は当該県などの自治体が判断することになっている。

こうした仮設住宅の暮らしの長期化に伴い、厚生労働省は仮設住宅の住民に対して暮らしの中で一番困っていることについてアンケート調査を実施。その結果「風呂の追い炊き機能」と「物置」が必要という回答が圧倒的に多かった。

「風呂の追い炊き機能」は寒さ厳しい東北3県のためお湯の冷め方が早く、家族が多くて後から入る人は冷たい思いをするので、是非とも必要という意見だ。また当初は短期間を予定していた仮設住宅の住まいが2年を超えて長くなると、部屋が狭いためスタッレススタイや冷暖房器具、その他日常に不可欠な生活用品の置場に困るので、屋外に設置する「物置」が必要という要望だった。

特に「物置」については要望が強かった。スタッレススタイや、灯油缶、掃除道具、冷暖房器具、大きな玩具など生活必需品の置き場所に困っていたという。スタッレススタイや脚立など雨に濡

れてもよいものは外に置けるが、盗難の心配やぶつかって怪我をするなど安全上の問題がある。また水に濡れては困る灯油缶や電気器具は室内に置かざるを得ないが、部屋が狭いので置き場所に困るなど、仮設住宅ならではの切実な問題があった。

◎「物置」約4万2,000棟を納入

こうしたアンケートの結果を受けて、厚生労働省と岩手県・宮城県・福島県は仮設住宅の居住環境改善の一環として、仮設住宅にお住まいの方々で、希望すれば「風呂の追い炊き機能」と「物置」を設置することを決め、その費用は全額災害救助費用から支出することになった。

設置される「物置」は鋼製で、サイズは県によって若干の違いはあるものの、規格型の幅約80cm×奥行き約75cm×高さ約180cmで、単独設置型と連棟設置型がある。またその品質はJIS規格に準拠する。設置期間は12年7月から12月で、冬の到来前に完工を目標とした。

「物置」の生産を担当するのは業界団体の日本屋外収納ユニット工業会に加盟する㈱稻葉製作所、㈱淀川製作所、㈱ダイケン、㈱田窪工業所、サンキン㈱の5社で、日本屋外収納ユニット工業会によると「これだけ大量の鋼製物置を短期間に生産・出荷するのは異例のことだったが、東日本大震災の復興支援の一環として、仮設住宅向けを

最優先して対応した」という。

また搬送・設置についても、現地の設置工事業者は現場組立て・設置の職人の人手不足にも苦労した。このため関東地区から応援部隊を編成したり、現地採用を増やすなどして、工期約5ヵ月で全ての作業を完了した。

◎仮設住宅5ヵ所でヒアリング

取材日は3月21日。仙台駅に降り立つと、風は強くまだ少し冷たいものの、晴れ渡って取材に支障は全くなかった。氷雨でも降れば仮設住宅の方々も家の中に引込んでしまって、取材が難しくなると懸念したが、幸いに杞憂に終わった。朝10時から早速取材を始めた。

◎「本当に大助かり。皆喜んでいる」

①仙台市若林区卸町の「卸町東二丁目公園応急仮設住宅」(92戸)にお住まいの春日井会長さんは、連棟の仮設住宅の端部に設置された物置（稻葉製作所製）を開けながら、「本当に助かっているよ。今まで外に置けないものは、風除室に置いたから、玄関がゴタゴタになってね。物置が来てすっかり整理できた」

物置の中にはスタッドラレスタイヤが4本、脚立・踏み台各1脚、お孫さんの玩具数点。まだまだ余裕がありそうだ。「仮設住宅暮らしある2年を過ぎて3年目に入った。冬寒く、夏暑いけれど、もう少し頑張らなくちゃね」



「卸町東二丁目公園仮設住宅」の春日井会長さん

◎「人の物置を借りて4棟を使用」

②仙台市若林区伊佐の「荒井小学校用地仮設住宅」(170戸)の東通仮設住宅町内会長の山本さんは、自らの鉄工所が流されて仮設住宅暮らし。

「風呂の追い炊き機能と物置（ダイケン製）が設置されたけれども、風呂の追い炊き機能には色々な意見もあって、全てが満足というわけには行かないね。その点、物置は皆大満足だよ。1坪分を収納できるから、結構ものが入るよ。私は残った機械類を収納するため、1人住まいの方で今使わない物置を4つも借りている。集会所も荷物が増えて置き場所に困っているので、集会場用も数棟を設置したいと申請すればよかった」



「荒井小学校用地仮設住宅」の東通町内会長の山本さん

◎「溜まり漬用の大鍋と野菜を収納」

③仙台市宮城野区岡田西町の「岡田西町公園仮設住宅」(80戸)の佐藤匡会長は留守だったが、みよ夫人が対応してくれた。

「物置（淀川製鋼所製）が来てくれて本当に大助かりよ。皆さん大満足しています。私は漬物が趣味で、震災前は溜り漬をよく作っていたの。しかし震災後は大鍋の置き所もなかったので止めていました。ところが物置が来て鍋や野菜の置き場所ができるて、今年から再開したの。とても嬉しかったわ。物置はタイヤや扇風機だけでなく、溜り漬用の大鍋はもちろん、ジャガイモやたまねぎなど野菜も保管できるので、大変重宝しています」

◎「急いで作ってくれた工場の方にお礼を」

④東松島市大曲の「矢本運動公園仮設住宅」の東自治会長の小野会長と生活復興支援センターの阿部さんから話を聞いた。同仮設住宅は東西併せて393棟の大型施設で、駅や商店街、病院、学校に近いなど立地条件がよいので一番人気という。そのため入居希望者が殺到して常に満杯状態で、待機組みが少なくないそうだ。

「物置は90%近い住宅に設置しており、スタッフレスタイヤやファンヒーター、扇風機などの置場に活躍して、皆喜んでいます。一度に大量の注文があってメーカーも大変だったと聞いていますが、メーカーの方々に仮設住宅の者が大変感謝していましたとは非お礼をお伝えください」

「実は私共は市にお願いして、分別ゴミ収納用の物置も設置しました。燃えるゴミやプラスチッ



雨の降り込まない通路に設置した「物置」

ク、生ゴミなど分別収集別に物置を分けているので、大変衛生的です。夏場に生ゴミの臭気で困ることもありません。物置は使い方を工夫すれば色々のケースに使えて便利ですね」

⑤石巻市南境の「運動公園西南用地仮設住宅」には田窪製の物置が置かれていた。会長が不在で、取材許可を貰えなかったので、撮影だけに終わった。屋外設置もあるが、雨が降り込まない屋根付きの通路に設置するケースも多かった。

◎町内会長さんは皆さん温厚な方ばかり

【取材後記】駆け足の取材だったが、一番感じたことは、仮設住宅集会所の会長さんが皆さん温厚で、人格者だったこと。突然の取材の申し入れにも拘わらず、笑顔で丁寧に応対していただいた。

仮設住宅にお住まいの方々は2年余前、予期せぬ突然の大地震と大津波で平常な生活を一瞬にして奪われた方々だ。慣れない集団生活の中、住まわれる方々の不平・不満も少なくなく、心がさく立ったことも度々あっただろうと想像に難くない。そんな状況の中で、「和」の中心になる会長さんはよほど信頼のおける人格者でないと務まらないのだなと勝手に納得した。

「たかが物置」・「されど物置」。物を創って多くの方に使っていただいて感謝される、メーカーとしての原点をいま一度かみ締めることができた良い機会だった。



「矢本運動公園仮設住宅」の
小野会長さん（左）と阿部さん（右）



「鋼製物置」を分別ゴミ収納庫に活用